



Charles Sturt  
University

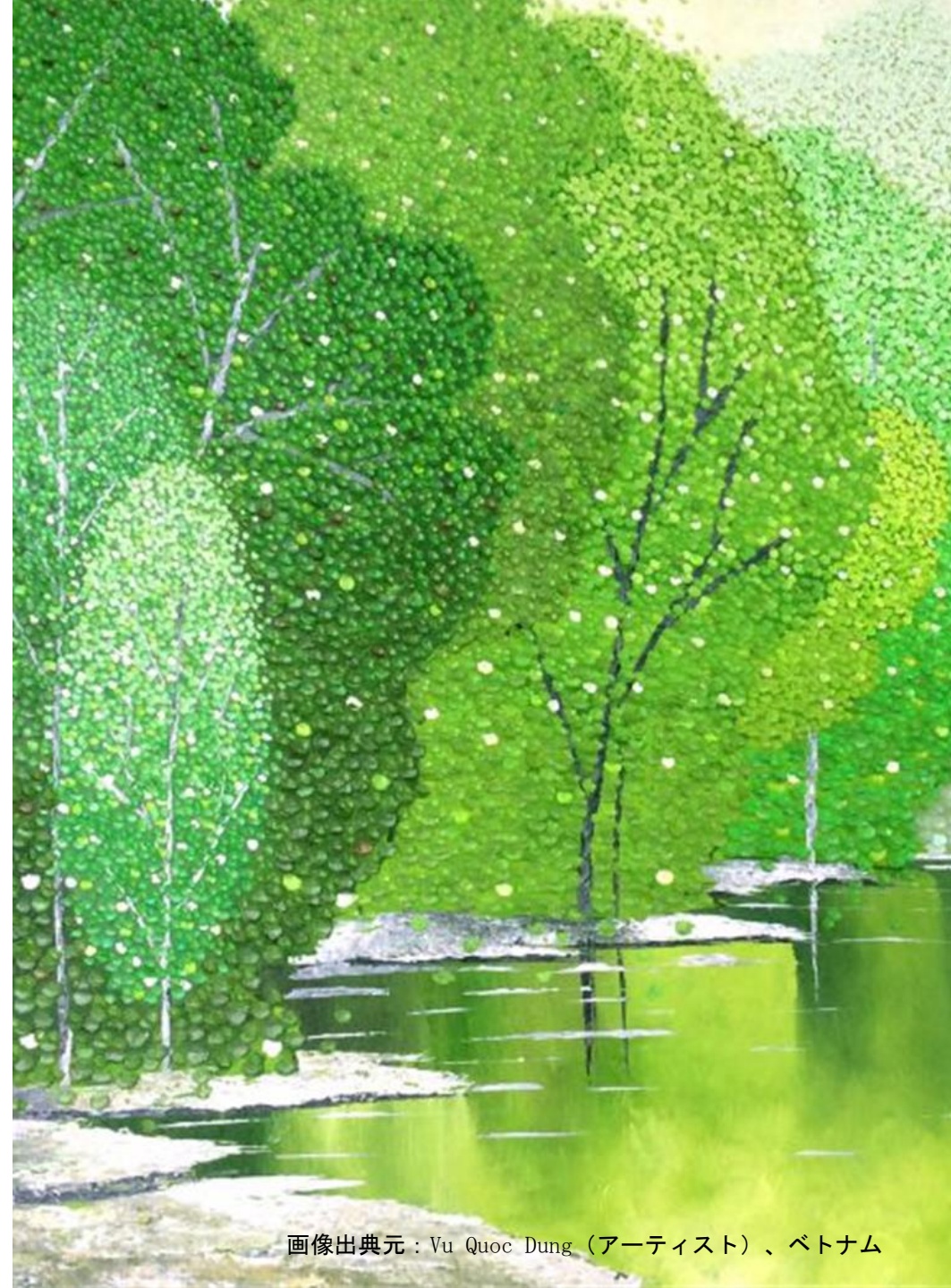
# 災害時の実践における ソーシャルワーカーの能力

2023年3月28日

ピータ・ジェフリーズ博士、ヘザー・ボエット博士  
チャールズ・スタート大学（オーストラリア）

# プレゼンテーションの概要

- エコソーシャルワーク（ESW）の枠組み
- 災害時の実践におけるソーシャルワーカーの能力の構築
  - 多方面型の手法
  - 戦略およびアプローチ
- 実習教育の模範
  - 災害時の実践の脱植民地化
  - 災害時の実践の変容
- 課題とまとめ







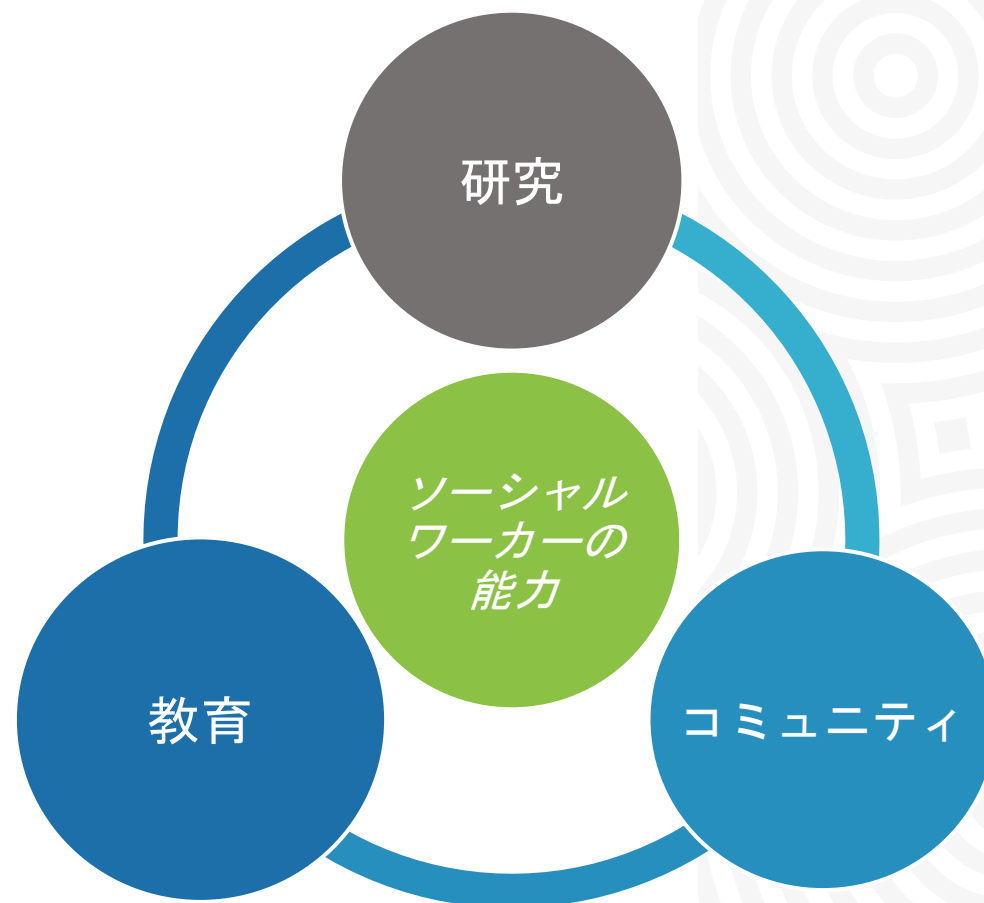
## エコソーシャル ワーク (ESW) の 枠組み

ESWの枠組みを採用した災害時の実践へのプロアクティブなアプローチ

- 健康で持続可能な、生物多様性のあるエコシステムの創造および維持
- 人と環境のウェルビーイングの相互依存の理解
- 不均等に存在する環境リスクによって生じた不公平性に対する配慮

# 災害時の実践プログラム

- 災害時の実践プログラムにおけるソーシャルワーカーの能力の構築
- 災害レジリエンスにおけるソーシャルワーク能力構築のための多方面型アプローチ
- 研究、教育、コミュニティエンゲージメント間の繋がり



# 具体的なプログラム活動

## • 実践者

- 災害への備えに関するオンラインの無料短期コース
- 人的サービス団体とのアクションリサーチ
- ソーシャルワーカーとのアクションリサーチ
- 国家専門機関と共に継続職能研修（CPD）コースへの貢献
- 実践グループ、ポッドキャスト、メディアなどを利用した幅広いトークイベント

## • 学生

- 必修のエコソーシャルワーク（ESW）コース
- 環境の持続可能性と災害時のソーシャルワーク実践に特化した一連の選択科目
- コース全体に組み込まれたESW
- 海外留学プログラム
- 任意のオンラインコース（Boetto & Bell, 2015）
- 実習教育の機会\*



# 災害時のソーシャルワーク実践： 実習教育

- Petaとの関係構築
- 政府機関との関係構築
  - 災害レジリエンスに対応する政府機関の部門  
(レジリエンスNSW)
- 必要条件：
  - 500時間 研究に焦点
  - 週1回の監督指導
  - アセスメント項目





AASW

オーストラリアソーシャルワーク協会

# 実習先での活動内容

- ・ 学習活動と学習計画を共同で策定
- ・ レジリエンスNSWのディレクターの要請
  - ・ どのような復興を遂げられるか
  - ・ 過去の災害から何を学べるか
- ・ AASW倫理規定（2020年度）と実践基準（2021年度）の見直し
- ・ 活動例の学習：倫理上のジレンマを認識し、職業的なアイデンティティを考察する

実践基準

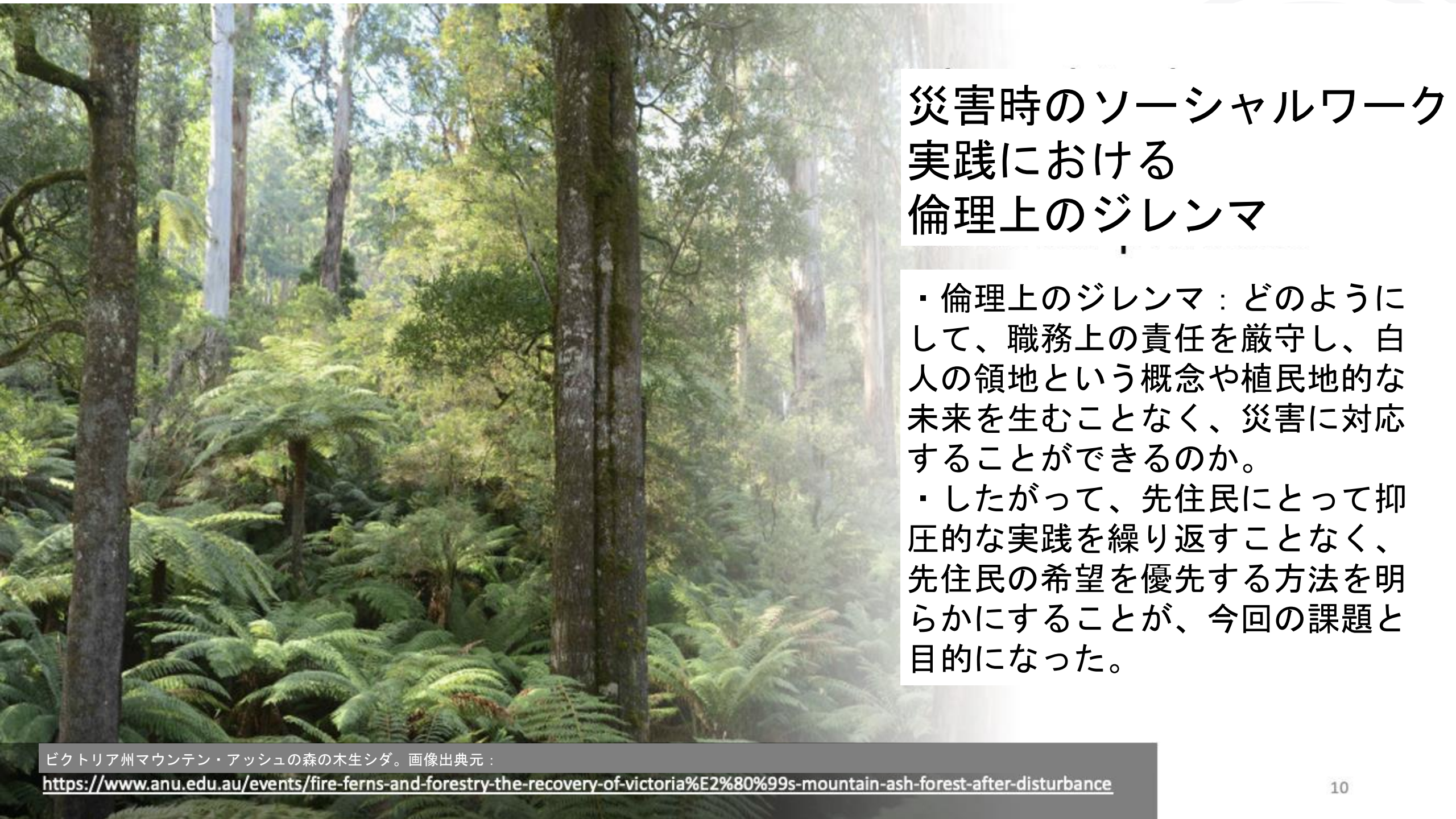


AASW  
Australian Association  
of Social Workers

2020年度 オーストラリア  
ソーシャルワーク協会  
倫理規定

2020



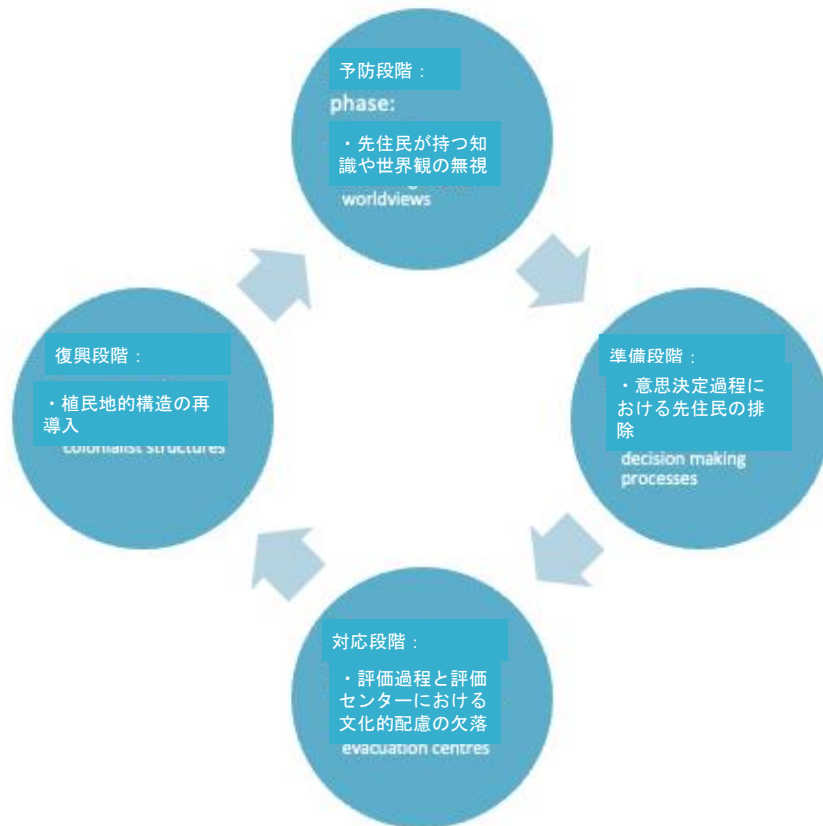


# 災害時のソーシャルワーク 実践における 倫理上のジレンマ

- ・倫理上のジレンマ：どのようにして、職務上の責任を厳守し、白人の領地という概念や植民地的な未来を生むことなく、災害に対応することができるのか。
- ・したがって、先住民にとって抑圧的な実践を繰り返すことなく、先住民の希望を優先する方法を明らかにすることが、今回の課題と目的になった。



# 災害時の実践における 植民地主義の例



様々な災害プロセスと実践にみる  
植民地主義の例の図



絶滅危惧種フクロモモンガダマシの画像。画像出典元：オーストラリアの動物園

<https://www.environment.vic.gov.au/conserving-threatened-species/threatened-species/lowland-leadbeaters-possum>



ファームソンの木 -  
ビクトリアンマウンテン・アッシュの森に聳え立つ巨木を囲む人々。デイビッド・リンダーメイヤー博士 (2016) が文書より画像を抜粋。  
画像出典元：ビクトリア州立図書館



ビクトリア州マウンテン・アッシュの森の木生シダ。

画像出典元：

<https://www.anu.edu.au/events/fire-ferns-and-forestry-the-recovery-of-victoria%E2%80%99s-mountain-ash-forest-after-disturbance>

# 白人の領地

激しい炎によって燃え尽くされる先住民の移住地。

かつては先住民による管理が行き届いていた。

画像出典元：

sourced <https://theconversation.com/colonialism-why-leading-climate-scientists-have-finally-acknowledged-its-link-with-climate-change-181642>



## 政府の復興支援、ニュー・サウス・ウェールズ州の洪水により退去を強いられたキャベッジ・ツリー島の先住民コミュニティは「置き去り」に

ラニ・ヘイマン、先住民コミュニティ担当リポーター、ナカリ・トオーブ  
2022年3月13日（日）7:29 am（掲載日）、2022年3月13日（日）12:44 pm（更新日）

<https://www.abc.net.au/news/2022-03-13/nsw-floods-displace-cabbage-tree-island-indigenous-community/100903252>

「現時点で望ましい解決策は、政府が何かしらの行動を起こすこと。そして我々のコミュニティ維持に必要なインフラ面でのニーズは何か、コミュニティとの対話の場所を設けることだ」とビンジ氏は述べた。

災害時のソーシャルワーク実践の脱植民地化・汚染除去・革新を行うためのソーシャルワーカーの役目とは何か。

- ・ ソーシャルワークという職種における組織的な白人優先主義と人種差別について認識するようソーシャルワーカーに求める先住民の学者 (Walters, et al)
- ・ 汚染除去・脱植民地化を図るために先住民からの視点を尊重する教育学 (ISP) の採用 (2011, 2019, 2020)
- ・ エコソーシャル・環境に配慮したソーシャルワーク (Boetto, \*\*\*\*)
- ・ 多方面型のソーシャルワーク (Harms, \*\*\*\*)
- ・ 脱植民地的な災害ソーシャルワーク実践 (JeffriesおよびBoetto, \*\*\*\*)

# エコソーシャルワークの枠組みとチャールズ・スタート大学の災害時のソーシャルワーク実践プログラムへの貢献





# 課題

対応可能な人員の規模により引き起こされるカスケード災害

組織内で明確に定義されていないソーシャルワークの役割